



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月6日

上場会社名 日本石油輸送株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9074 URL https://www.jot.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 昌一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 松井 克浩 (TEL)03(5496)7671  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 2018年11月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	15,546	6.4	218	△7.0	399	10.5	250	9.8
2018年3月期第2四半期	14,610	4.5	234	8.6	361	△6.6	227	△7.0

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 975百万円(115.4%) 2018年3月期第2四半期 452百万円(197.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	75.59	—
2018年3月期第2四半期	68.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	35,501	20,005	56.4
2018年3月期	34,111	19,163	56.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 20,005百万円 2018年3月期 19,163百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2019年3月期	—	40.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	3.2	1,100	△10.1	1,400	△4.6	900	△13.2	272.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	3,322,935株	2018年3月期	3,322,935株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	14,685株	2018年3月期	14,504株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	3,308,371株	2018年3月期2Q	3,308,364株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復が継続いたしました。国内各地で相次いで発生した自然災害による影響や通商問題による海外経済の下振れリスク等も懸念される状況で推移いたしました。

当社グループの事業環境につきましては、国内の石油製品需要が長期的に減少すると見込まれているほか、乗務員不足の問題や燃料費および人件費等の経費の増加もあり、依然として厳しい状況におかれています。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画の達成を目指して、輸送シェアの維持・拡大を通じた収益力の強化、LNG（液化天然ガス）輸送、水素輸送、化成品における海外輸送等の成長分野の推進等に取り組んでいます。

また、より安定的な輸送体制の確立に向けて、乗務員の確保や車両の拡充にも引き続き注力しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高は15,546百万円（前年同期比6.4%増）となりましたが、燃料費や人件費等の経費の増加により、営業利益は218百万円（同7.0%減）となりました。一方で、営業外収益が増加したことにより、経常利益は399百万円（同10.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は250百万円（同9.8%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

## (石油輸送事業)

石油輸送事業につきましては、石油元売会社の合併や経営統合の動きのなかで、積極的に輸送数量の拡大に努めたことに加え、主要顧客の運賃改定により、売上高および営業利益は増加いたしました。

この結果、当事業における売上高は7,415百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は260百万円（同1,399.7%増）となりました。

## (高圧ガス輸送事業)

高圧ガス輸送事業につきましては、LNG輸送における新規輸送の拡大により、売上高は増加し3,909百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

一方で、利益面においては燃料費や人件費等の経費の増加により、62百万円の営業損失（前年同期は86百万円の営業利益）となりました。

## (化成品・コンテナ輸送事業)

化成品輸送事業につきましては、積極的な営業活動の展開により、国内輸送が伸長したことに加え、海外輸送においても販路拡大に努めた結果、売上高は増加いたしました。

コンテナ輸送事業につきましては、西日本で発生した7月豪雨を始め、地震や台風の自然災害によって、貨物列車の運休が多発したため、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は4,114百万円（前年同期比1.4%減）となりました。また、利益面においては投資に伴う経費の増加および自然災害による売上高の減少により、30百万円の営業損失（前年同期は83百万円の営業利益）となりました。

## (その他事業)

太陽光発電事業につきましては、売上高はほぼ前年並となりましたが、経費の減少により、営業利益は増加いたしました。

この結果、当事業における売上高は106百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は50百万円（同7.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は35,501百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,389百万円増加いたしました。

流動資産は7,242百万円となり、前連結会計年度末に比べ146百万円減少いたしました。これは季節変動により受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。固定資産は28,259百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,536百万円増加いたしました。これは主にリース資産の増加および投資有価証券の時価変動による増加によるものであります。

負債は15,495百万円となり、前連結会計年度末に比べ547百万円増加いたしました。これは季節変動により支払手形及び買掛金が減少したものの、リース債務が増加したことによるものであります。純資産は20,005百万円となり、前連結会計年度末に比べ842百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によ

る利益剰余金の増加と、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.2%上昇し、56.4%となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ627百万円増加(前年同期378百万円増加)し3,483百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、1,866百万円(前年同期1,276百万円増加)となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益393百万円、減価償却費1,661百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、916百万円(前年同期1,172百万円減少)となりました。これは主として有形固定資産売却による収入があったものの、タンクローリー、コンテナの取得により933百万円を支出したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、334百万円(前年同期274百万円増加)となりました。これは主としてセール・アンド・リースバックの収入646百万円があったものの、ファイナンス・リース債務820百万円を返済し、配当金132百万円の支出があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済は、好調な企業収益のもと回復が続くことが期待される一方、原油価格の高騰や通商問題による海外経済の下振れリスク等も懸念されております。

物流業界におきましては、乗務員不足の問題や燃料費および人件費等の経費の上昇もあり、厳しい状況が続くものと予想されます。また、石油元売会社の合併や経営統合の動きのなかで、当社グループにおいても、この変化を的確に捉えて確実に対応していくことが求められています。

このような状況のなか、当社グループは、「Shift for the Next 安全の徹底と質の高いサービスで未来への責任を果たします」というキャッチフレーズのもとに、中期経営計画の達成を目指して、引き続き収益力の確保、成長分野の推進、生産性向上等への取り組みを進めてまいります。

また、こうした取り組みと並行し、安定輸送を継続するために、雇用環境の改善による乗務員の確保や車両の拡充にも引き続き注力いたします。加えて、安全教育の一層の充実を図り、今後もお客様に安心してご利用いただける質の高いサービスの提供に努めてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、売上高は前回発表予想の通りとなりますが、自然災害の影響や燃料費および人件費等の経費の増加が見込まれるため、以下のとおり、各利益については下方修正を行います。

○2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	34,000	1,300	1,600	1,000	302.26
今回修正予想 (B)	34,000	1,100	1,400	900	272.03
増減額 (B-A)	0	△200	△200	△100	—
増減率 (%)	0.0	△15.4	△12.5	△10.0	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	32,951	1,224	1,467	1,037	313.52

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,856	3,483
受取手形及び売掛金	3,922	3,117
その他	609	640
流動資産合計	7,388	7,242
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	3,846	3,667
コンテナ(純額)	3,052	2,875
土地	5,486	5,513
リース資産(純額)	5,917	6,432
その他(純額)	2,012	2,289
有形固定資産合計	20,316	20,779
無形固定資産		
ソフトウェア	60	51
その他	2	22
無形固定資産合計	62	74
投資その他の資産		
投資有価証券	5,201	6,289
その他	1,142	1,116
投資その他の資産合計	6,343	7,405
固定資産合計	26,723	28,259
資産合計	34,111	35,501
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,033	1,647
短期借入金	433	406
未払法人税等	332	196
賞与引当金	707	636
役員賞与引当金	84	50
その他	3,097	3,632
流動負債合計	6,690	6,569
固定負債		
リース債務	4,433	4,777
修繕引当金	244	274
退職給付に係る負債	2,566	2,588
その他	1,013	1,286
固定負債合計	8,258	8,926
負債合計	14,948	15,495
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,661	1,661
資本剰余金	290	290
利益剰余金	15,845	15,963
自己株式	△35	△35
株主資本合計	17,762	17,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,497	2,206
繰延ヘッジ損益	△3	2
退職給付に係る調整累計額	△93	△82
その他の包括利益累計額合計	1,400	2,125
純資産合計	19,163	20,005
負債純資産合計	34,111	35,501

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	14,610	15,546
売上原価	13,453	14,337
売上総利益	1,156	1,208
販売費及び一般管理費	921	990
営業利益	234	218
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	48	61
固定資産賃貸料	120	133
固定資産売却益	46	22
持分法による投資利益	10	45
雑収入	18	42
営業外収益合計	244	305
営業外費用		
支払利息	37	36
固定資産賃貸費用	42	43
固定資産除売却損	33	23
雑損失	4	20
営業外費用合計	117	123
経常利益	361	399
特別損失		
その他の投資評価損	—	4
減損損失	—	1
特別損失合計	—	6
税金等調整前四半期純利益	361	393
法人税等	134	143
四半期純利益	227	250
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	227	250

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	227	250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	187	698
繰延ヘッジ損益	11	6
退職給付に係る調整額	22	11
持分法適用会社に対する持分相当額	4	9
その他の包括利益合計	225	725
四半期包括利益	452	975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	452	975
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	361	393
減価償却費	1,604	1,661
減損損失	—	1
固定資産除売却損益(△は益)	△13	0
売上債権の増減額(△は増加)	469	805
仕入債務の増減額(△は減少)	△476	△386
その他	△387	△478
小計	1,559	1,997
利息及び配当金の受取額	48	61
利息の支払額	△36	△39
補償金の受取額	—	168
法人税等の支払額	△295	△321
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,276	1,866
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,238	△933
有形固定資産の売却による収入	81	65
投資有価証券の増減額(△は増加)	△16	△16
貸付金の増減額(△は増加)	1	△18
その他	0	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,172	△916
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	65	△27
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△803	△820
セール・アンド・リースバックによる収入	1,144	646
配当金の支払額	△132	△132
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	274	△334
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	378	627
現金及び現金同等物の期首残高	2,311	2,856
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,690	3,483

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年（平成30年）2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油輸送	高圧ガス輸 送	化成品・コ ンテナ輸送	その他 (注)1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,642	3,688	4,172	107	14,610	—	14,610
セグメント間の内部売 上高又は振替高	208	6	36	—	251	△251	—
計	6,850	3,694	4,208	107	14,861	△251	14,610
セグメント利益	17	86	83	46	234	—	234

(注)1 報告セグメントの「その他」は、太陽光発電事業であります。

(注)2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油輸送	高圧ガス輸 送	化成品・コ ンテナ輸送	その他 (注)1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,415	3,909	4,114	106	15,546	—	15,546
セグメント間の内部売 上高又は振替高	231	2	47	—	281	△281	—
計	7,646	3,911	4,161	106	15,827	△281	15,546
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	260	△62	△30	50	218	—	218

(注)1 報告セグメントの「その他」は、太陽光発電事業であります。

(注)2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報  
各報告セグメントごとに配分していない全社資産において、遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額したことにより、1百万円の減損損失を計上しております。